

(資 料 4)

ロシア船籍タンカー油流出事故に関する環境保全技術対策 プロジェクトチーム設置要綱

(設置)

第1条 油流出事故に伴う環境影響に関する実態の把握と環境保全対策等について技術的な観点から情報を収集整理し、被害の拡大防止、環境保全を行うため、「福井県プロジェクトチーム設置および運営規程」に基づき、「ロシア船籍タンカー油流出事故に関する環境保全技術対策プロジェクトチーム」（以下「チーム」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 チームは次に掲げる事項について検討する。

- (1) 油流出による環境汚染状況の調査および把握
- (2) 油流出による環境影響に関する情報収集および解析
- (3) 油流出による環境影響予測
- (4) 生態系等自然環境および漁場環境の回復、復元等に関する技術的検討

(組織)

第3条 チームの構成員は、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

2 チームにリーダーを置き、環境科学センター所長をもって充てる。

3 リーダーはチームを代表する。

4 リーダーに事故のあるときは、あらかじめリーダーが指名する者がその職務を代理する。

(会議)

第4条 チームの会議は必要に応じてリーダーが招集する。

2 リーダーはチームの会議の議長となり、議事を整理する。

3 チームは、必要があるときは、有識者など構成員以外の者に会議に出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 チームの庶務は、県民生活部環境政策課において行う。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、チームの運営に関し必要な事項は、リーダーが定める。

附 則

この要綱は、平成9年1月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

別表

ロシア船籍タンカー油流出事故に関する
環境保全技術対策プロジェクトチーム構成員

所 属	職 名	氏 名 (任 期)
環境科学センター	所 長	稲 津 悦 朗 (H 9. 1. 16~H10. 3. 31)
	所 長 心 得	宮 永 信 幸 (H10. 4. 1~)
環 境 政 策 課	参 事	内 田 利 勝 (H 9. 1. 16~H 9. 3. 31)
”	参 事	坪 内 彰
”	主 任	前 川 勉
自 然 保 護 課	主 任	安 野 正 一 (H 9. 1. 16~H10. 3. 31)
		中 村 勉 (H10. 4. 1~)
環境科学センター	総括研究員	白 崎 健 一
”	主任研究員	山 田 克 則 (H 9. 4. 1~)
自然保護センター	企画主査	多 田 雅 充
衛 生 指 導 課	主 任	永 平 善 一
衛 生 研 究 所	総括研究員	堀 川 武 夫
水 産 課	主 任	村 本 昭 市 (H 9. 1. 16~H10. 3. 31)
		石 原 孝 (H10. 4. 1~)
水 産 試 験 場	主任研究員	谷 村 健 一
”	主任研究員	中 島 輝 彦 (H 9. 1. 16~H10. 3. 31)

(計 12名)

[参考]

環境保全技術専門アドバイザー名簿

所 属 等	氏 名	専 門 分 野
福井県立大学 名誉教授	畑 幸彦	海洋微生物学 環境科学
福井県立大学 生物資源学部教授	中村 充	海洋環境工学
福井県立大学 生物資源学部教授	矢野 勲	海洋生物工学 海洋動物増殖学
新潟大学 名誉教授	本間 義治	海洋生物学
福井大学 教育学部助教授	横山 俊一	植物生態学
国立環境研究所 地球環境研究グループ 海洋研究チーム 主任研究員	くぬぎ 功刀 正行	環境化学 分析科学